

# STL 採択プロジェクトの活動

## 事業概要

STL (Students Launch) 助成金は、本学学生が主体的に取り組む活動のうち、地域活性化に寄与し、成果が期待できるものに対して活動費を助成する制度です。

2023年度までは「学生プロジェクト」として実施していましたが、2024年度からは地域での活動範囲をさらに広げることを目的に、所管を北近畿地域連携機構に移管し、助成額の上限を10万円から20万円に引き上げました。

2024年度には12件の申請があり、書類審査とプレゼンテーション審査を経て、9件が採択されました。

### [スケジュール]

2024年5月7日	申請書提出締め切り
2024年5月14日	プレゼンテーション審査
2024年5月23日	結果通知
2025年2月17日	成果報告会

## 採択されたプロジェクトの紹介

### 子どもの居場所づくりプロジェクト きっずすとぅにーる

「子どもの居場所づくりプロジェクト きっずすとぅにーる」は、大学生と子どもたちが一緒に食事をし、遊びや勉強を通じて、互いに安心して自由で楽しい時間を過ごせる場所です。

さらに、子どもたちへの学習支援や食事支援を通じて、保護者であるお母さんやお父さんが自分の時間を持つきっかけを提供することも目指しています。活動は夏期(8月・9月)および冬期(2月・3月)を除く、毎月第3火曜日を基本として行われています。

代表の学生は、「本学学生が子どもたちを通じて地域とのつながりを築くきっかけになればと思います。また、子どもたちの自由を尊重し、学生と子どもが思う存分楽しめる環境をこれからも作り続けていきたいです」と語っています。



本学学生食堂で大学生と子供たちが交流する様子

## GrowSpiral

「GrowSpiral」プロジェクトは、2023年度NEXT産業創造プログラムのPBLにおいて、「学生の就職活動における不安」と「地域企業の魅力発信不足」という双方の課題を解決することを目的に、株式会社Lifexiaのイントレプレナー事業として立ち上げられました。株式会社Lifexiaは、現代表である飯淵弘成氏が2020年度NEXT産業創造プログラムへの参加を経て、福知山市三和町に設立した企業です。

GrowSpiralの具体的な取り組み内容は以下のとおりです。

1. 企業へのインタビューを通じて、各社商品の魅力を言語化する。
2. 言語化した内容を基に、株式会社Lifexiaの監修のもと、「売れる商品ページ」構成に仕上げる。
3. プロのデザイナーに制作を依頼し、完成後に依頼主へ納品する。
4. オプションサービスとして、写真・動画の撮影・編集、イベントの企画・運営、SNS運用代行など、ワンストップ型のサービス提供を行う。

今年度は、3社のホームページ制作を担当しました。さらに、絹製品の新ブランド立ち上げにも参画し、プロモーションビデオの制作やSNS運用を手掛けました。



立ち上げに参画したブランドの記者会見の様子



GrowSpiralの活動を発信する広報イベントでの一幕

## UF Student Journalists

「UF Student Journalists」では、起業家への取材を通じ、その記事をホームページで公開することで、同世代の若者に一歩踏み出す勇気を与えるコンテンツの発信を目指しています。

今年度は、グンゼ株式会社博物館苑長や京都FM丹波放送のパーソナリティへのインタビュー、さらにイベント体験レポートなど、延べ12件の記事を執筆しました。



グンゼ博物館苑長へのインタビュー記事を執筆



インタビューを実施するUF Student Journalists

## KYOTO ストリートミュージック Project

「KYOTO ストリートミュージック Project」は、ストリートピアノの設置やストリートライブ、子ども楽器体験教室の企画・運営に取り組むプロジェクトです。生の音楽に触れる機会を増やし、音楽を通じた地域コミュニティの活性化を図ることを目的としています。

実施日	活動内容
2024年6月15日～6月23日	ストリートピアノ設置（まちかどキャンパス吹風舎）
2024年8月6日～8月23日	子ども楽器体験教室
2024年11月23日、11月24日	まちなか音楽祭～ストリートの秋 in 福知山～



まちかどキャンパス吹風舎に設置されたストリートピアノ



福知山駅北口広場で開催されたストリートライブ

## nicoful

「nicoful」では、フリーペーパーの作成やSNSでの情報発信を行っています。今年度は、地域広報誌との共同執筆や新しいオリジナルキャラクターの作成など、昨年度までにはなかった新しい挑戦を数多く実施しました。

また、メンバーの出身地がそれぞれ異なるという「よそ者視点」の強みを生かし、北近畿を活動のフィールドとしながら地域とのつながりを大切にしています。

さらに、カメラが好きな学生や絵を描くことが得意な学生など、各メンバーの個性や得意分野を活かしながら、役割を分担して作業を進めています。



nicofulメンバーが集い、アイデアを形にする



## アグリサーキュラーデザイン in Fukuchiyama

「アグリサーキュラーデザイン in Fukuchiyama」では、地域の企業や農家で発生する規格外品や廃棄ロスを活用した商品開発を行い、プロモーションから販売まで一貫して手掛けています。

規格外の万願寺とうがらしを使用して開発した飴の販売や、廃棄予定だった玉ねぎを活用したカレーを地元の居酒屋と連携して、1皿100円で販売する取り組みを行いました。



北近畿コラボスペース全体集会での活動紹介



廃棄予定の玉ねぎを活用したカレーの提供

## 七福ふっこう隊

「七福ふっこう隊」では、能登半島地震の被災地である石川県七尾市でのサロン活動や、福知山市で行われる報告会およびワークショップ活動を通じて、被災者の潜在的なニーズに寄り添ったケアを提供するとともに、福知山市民の防災意識の向上や新たなボランティア層の創出を目指しています。能登半島では、仮設住宅への戸別訪問や物資配布をはじめ、地域の方々との交流イベントを企画・運営するサロン活動を実施しています。この活動は、採択後の6月から毎月行っており（8月を除く）、被災地のニーズに応じた支援を継続しています。一方、福知山市では、ボランティア報告会やワークショップ活動を通じて、災害ボランティアの経験から得た学びを市民に伝え、地域全体の防災意識を高める取り組みを進めています。

さらに、7月からは両丹日日新聞にて、被災地支援の様子を記録する「七福ふっこうタイムス」の連載を開始し、多くの方に情報を発信しています。



石川県七尾市でのサロン活動の様子



## 福知山プロジェクションマッピング 2024

「福知山プロジェクションマッピング 2024」は、福知山城やゆらのガーデン周辺で開催される「福知山イル未来と」への出展に向けて活動を行っています。この取り組みは 2018 年から継続して実施しています。

2024 年度は、10 月 19 日および 20 日に開催された「福知山イル未来と 2024」に出展しました。手持ち行灯の貸し出しを実施し、特に子どもたちから大変好評を得ました。時間制限を設けずに行った結果、30 組以上の貸し出しがあり、なかには 3 時間近く利用される方もいらっしゃいました。



学生が制作したドッコちゃん 3D モデル



来場者に貸し出された手持ち行灯

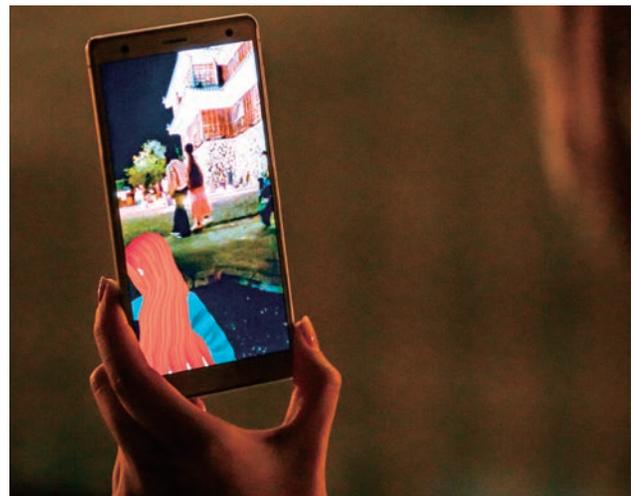
## 福公大×芸観大コラボ企画課

「福公大×芸観大コラボ企画課」は、情報、地域、芸術を掛け合わせたパフォーマンスを企画し、「福知山産業フェア」や「福知山イル未来と」など地域のイベントに参画するほか、自らイベントを企画・運営する団体です。この団体は、本学学生と、豊岡市にある芸術文化観光専門職大学の学生で構成されています。

2024 年 10 月 12 日には「福知山産業フェア」において、本学軽音サークル「UNION」とコラボレーションし、コミュニケーションワークショップを実施しました。また、10 月 20 日に開催された「福知山イル未来と 2024」では、AR 技術を活用した演奏パフォーマンスを披露し、新しい技術と芸術の融合を地域の皆様に届けました。さらに、2025 年 2 月には小学生向けのワークショップを実施しており、今後も幅広い活動が期待されます。



本学学生、芸術文化観光専門職大学学生、  
福知山青年会議所とのミーティング



AR 技術を活用した演奏パフォーマンス

## 福知山西南ロータリークラブインターシティミーティング

2024年11月2日、福知山西南ロータリークラブが主管するインターシティミーティング（京都府北部のロータリークラブの会合）が実施されました。本学からは、STL 助成金採択団体を含む5団体が参加し、それぞれの活動について発表を行いました。当日は、ロータリークラブ会員約160人が参加し、各団体の取り組みを熱心に聞き入っていました。

### [参加団体]

- GrowSpiral
  - アグリサーキュラーデザイン in Fukuchiyama
  - KYOTO ストリートミュージック Project
  - 七福ふっこう隊
  - AI サークル「FGR」
- ※各団体から2名ずつが発表に参加しました。



インターシティミーティングでの活動発表の様子

## STL 助成金 2024 成果報告会

実施日：2025年2月17日 会場：本学3号館1階3101教室

STL 助成金を採択された9団体が順に成果を報告し、活動のまとめを行いました。各団体の報告では、「企画したイベントに参加した方々から喜びの声が聞こえた」「助成金のおかげで活動の幅が広がり、より広い視野を持つことができた」など、確かな成果が得られたことが伝えられました。

傍聴していた教職員からは、有益なアドバイスとともに、企画の甘さを指摘するような質問も寄せられ、学生にとって貴重なフィードバックの機会となりました。さらに、次年度の発表を意識して熱心に聴講する学生の姿も見られ、今後の活動への意欲が感じられる場となりました。



STL 助成金採択団体による成果報告の様子